

4

タイキグラミーの17年産

牡

父：スピルバーク 母の父：フレンチデピュティ(USA)

2017年3月16日生(鹿毛) 栗東・西園正都 厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ 繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全200口 総額2,000万円／一口出資金100,000円／月々の維持費 3,000円／1口



スピルバーク 鹿毛 2009年	ディーブインパクト 鹿毛 2002年	サンデーサイレンス(USA)
		ウインドインハーヘア(IRE)
タイキグラミー 鹿毛 2010年	プリンセスオリビア(USA) 栗毛 1995年	Lycius(USA)
		Dance Image(IRE)
	フレンチデピュティ(USA) 栗毛 1992年	Deputy Minister(CAN)
		Mitterand(USA)
	リンクスオブタイム 黒鹿毛 1996年	ジェイドロパリー(USA)
		リンクスオブゴールド(USA)

インブリード:Mr. Prospector(USA):S4xM4 Lyphard(USA):S5xS5
Northern Dancer(CAN):S5xM5

Family Line

母 タイキグラミー

1勝。本馬は第2仔。産駒
アドゥシール(16 牝 黒鹿 ゼンノロブロイ)

祖母 リンクスオブタイム

米国産、5勝。産駒
ツルミトウインクル:3勝
タイキブルース:2勝
シルヴィーズモード:[東海]2勝

曾祖母 リンクスオブゴールド

米国産、4勝。産駒
ヤエノジョオー:7勝、
シーサイドSG3 2着、タイムス杯OP 2着、
コーラルSOP 3着、シーサイドOP 3着
タイキエイワン:3勝
タイキパーシヴァル:5勝
ヤエノリリー:3勝。産駒
リンクスダイヤ:1勝、南関東4勝

Broodmare Sire

母の父 フレンチデピュティ(USA)

1992年生 栗毛 米国産
【競走成績】
海外6戦4勝 ジェロームH(G2)

【代表産駒】

クロフネ:NHKマイルC(G1)、ジャパンCダート(G1)、
武蔵野S(G3)、毎日杯(G3)
エイシンデピュティ:宝塚記念(G1)、金鯱賞(G2)、
京都金杯(G3)、エプソムC(G3)
アドマイヤジュビタ:天皇賞・春(G1)、阪神大賞典(G2)、
アルゼンチン共和国杯(JPN2)
Left Bank:ホイトニーH(G1)、シガーマイルH(G1)、
ヴォスバーク(G1)、トムフルH(G2)

【母の父として】

マカヒキ:日本ダービー(G1)、弥生賞(G2)、皐月賞(G1)2着
ショウナンパンドラ:ジャパンC(G1)、秋華賞(G1)
マイネルホウオウ:NHKマイルC(G1)
アニメイトバイオ:ローズS(G2)、秋華賞(G1)2着、
阪神ジュベナイルフィリーズ(JPN1)2着

TRAINER 西園正都 調教師(栗東)

1955年12月29日生(62歳) 鹿児島県出身
1997年開業 JRA通算521勝

【主な管理馬】

サダムパテック:マイルCS(G1)
エーシンフォワード:マイルCS(G1)
タムロチェリー:阪神ジュベナイルフィリーズ(G1)
ハクサンムーン:セントウルS(G2)

※成績は2018年4月30日現在

Sire

父 スピルバーク

2009年生 鹿毛 千歳産

【競走成績】

2～6歳時、日英18戦6勝
天皇賞・秋(G1)、ジャパンC(G1)3着、毎日王冠(G2)3着、
毎日杯(G3)3着、共同通信杯(G3)3着

【直近3年の種付頭数】

2016年101頭、2017年58頭

【JRA勝ち上がり率】

データ無し

【傾向】(2016～2018年)

[芝] [ダート] データ無し

【種牡馬解説】

現役時はデビューから大物感漂うレース振りで、芝中距離を主戦場に6勝を上げる。2014年天皇賞・秋では名牝ジェンティルドンナに土をつけ、一気にスターダムへのし上がるが、以降は粹順や展開に恵まれず、振るわぬ結果のまま6歳で引退となる。ディーブインパクト産駒らしからぬ、500kgを超える雄大な馬体と、近親の華やかな活躍も相まって、馬産地からの期待の声も大きい。競走馬時代には届かなかった、G1競走2勝目の夢を次世代に託す。



©上田美貴子

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

見るからに筋量豊富な立ち姿ですが、部分部分にフォーカスしてみると、スッキリとしなやかな首差しや、皮膚の薄い背中など、筋肉質だけでなく、しなやかな走りをするに適う体の構造をしていることが分かります。四肢を支える筋肉は暴力的なまでに肥大し、力のいる馬場や急坂で爆発的なエネルギーを生み出してくれそうです。母タイキグラミーと同じく、何事にも動じない強い精神力を有しており、環境の変化にもどっしりと構えて、受け入れる風格があります。この荒削りな原石が、これからの成長と共に、バランスが整って来た時、悔しくも古豪と呼ばれて久しい我らがタイキを、旗持ちとなって引っ張っていつてくれる存在となるでしょう。